

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校第3学年

【単元名】 自分たちの「オリジナル生き物図鑑」を作ろう（20時間扱い）

【育成する資質・能力】〔思考力、判断力、表現力等〕

全体計画における資質・能力	単元計画における資質・能力
<ul style="list-style-type: none"> 活動の中から疑問点や不思議な点を見つけ、課題を設定できる。 異なる意見や他者の考えを受け入れ、自分の考えと比較する。 活動を振り返り、自分の頑張りや良さを自覚することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然の中の生き物を観察する中で、自ら課題を立てる。 グループでまとめる中で、友だちの考えを聞いたり自分の考えをはっきり伝えたりできる。 学習カードに自己のがんばりを評価できる

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり：「アゲハチョウを育てよう」 生き物の命を大切にすることを学んだ。
 ・アゲハチョウを飼育する中で、様子を観察し写真と文章でまとめる。

働かせる見方・考え方：「自己と命の関わり」や「命と自然のつながり」について問い続けること。

階	学習活動（時間）	留意点
対象と出会い課題をもち	1 今までの活動を振り返り、他の生き物に興味をもつ(2)	<p>今までの活動から、問いを見いだす場面</p> <p>☞アゲハチョウでの飼育の活動から、他の生き物について一人一人が問いを見いだせるようにする。</p>
繰り返し対象へ働きかけ	2 どんな生き物がどこにいるか探す場所の見通しをもつ(2)	<p>自ら課題を設定し、追究の見通しをもつ場面</p> <p>☞学校の周りの生き物について、子供が追究していくことについて見通しをもつ場を設ける。</p>
	3 グループ毎に学校の周りにいる生き物や自然の様子を観察する(4)	<p>見通しをもとに情報を収集し、整理・分析する場面</p> <p>☞学校の周りの生き物を実際に観察したり、絵や写真などで記録したりして、情報を収集する場を設ける。</p> <p>☞観察・記録してきたことを整理し、友だちの意見を生かしながらオリジナルの生き物図鑑を作成することで、生き物をより深く理解し、生き物と自然のつながりに気付けるようにする。</p>
4 オリジナル生き物図鑑を作成する(10)		
自分の考えをまとめる	5 完成した図鑑を発表し、活動を振り返る(2)	<p>まとめ・表現をし、自己の学びを自覚する場面</p> <p>☞完成した図鑑のよさを共有する場を設ける。</p> <p>☞友と意見を交流し、様々な視点からこれまでの活動を自覚する場を設定する。</p>

次単元へのつながり：「生き物図鑑を伝えよう」

・出来上がった「オリジナル生き物図鑑」で分かったことを全校や家庭に伝える。